



坂戸市立入西小学校

につさい

【校訓】 自ら

【学校教育目標】

- ・考える子
- ・思いやる子
- ・げんきな子

令和8年6月25日発行 第4号

わくわくがいっぱい 入西小

入西小では、魅力ある授業づくりの推進の一環で、実体験や本物に触れる体験を通して、日頃の授業だけでは学べないたくさんのことを学び、日常生活で生かしていけるよう、計画をしています。学校だからこそできる体験や入西小だからこそできる体験を学校が主体となって計画的に年間指導計画に位置付けを行っています。

その代表格がお米作り。今年度も、入西小のよき伝統となっているお米作りを4年生の総合の学習で行っています。4年生は、進級して間もなく、芽出しや蓮華踏みを経験し、5月末には代掻きをした田んぼの土の感触を味わい、いよいよ29日には地域の方や保護者のお力をお借りし、無事に田植えを行うことができました。当日、日差しはきついものの、風が吹いていたので子どもたちは暑さをさほど感じることなく、1本1本丁寧に植え、米作りの大変さを実感していました。この体験を通して子どもたちはお米のどんなことを調べたいかを考えるとともに、お米の有難み、農家やご飯を作ってくれる人への感謝の気持ち等をもってもらいたいのです。

また、6年生は文化庁の学校巡回公演の機会をいただき、5月28日に事前ワークショップでミュージカルや演目の「リトルプリンス」のあらすじを音楽座の方から学びました。ミュージカルの楽しさを学んだ上で、6月2日には本公演を迎えました。いつもの体育館がこの日ばかりは劇場へと変わり、迫真の演技や大音響に直に触れ、またとない体験をすることができました。子どもたちは、本物に触れ、体いっばいで音楽座の表現を受け止めたことで、何か感じるものがあつたはずです。ぜひ、日々の生活に生かし、質実剛健で発信力のある6年生を目指してもらいたいものです。

入西小では、日頃の授業を大切にしながら、これから先様々な体験活動を取り入れて教育活動を充実させていきたいと思っております。ご支援ください。

子どもたちのあいさつが今年もこだましています！

入西小では今年度も5・6年生の有志50名以上があいさつ実行委員となり、6月から本格的にあいさつ運動を始めてくれました。南門や西門、昇降口に元気なあいさつが響き渡り、朝からさわやかな気持ちになります。今年度のあいさつ実行委員は、「実行委員一人一人が実行委員長」の気持ちで、自分のできることを頑張っていくとみんながやる気に満ち溢れています。朝の校門でのあいさつ以外にも、自分ができる時間や場所を見つけてあいさつの輪を広げていく予定です。あいさつ実行委員のやる気とこれからの活躍が楽しみです。さらに、6月はあいさつ月間でもあり、実行委員だけでなく、クラスごとに輪番で担任の先生と一緒にあいさつを行っています。元気な声が校門にあふれ、梅雨の沈みがちな気分を吹き飛ばしてくれています。

安全・安心のために、学校内での名札の着用を

全職員で子どもたちを見守っていくためにも、子どもたちに校内での名札の着用を指導しております。紛失等の際には、以下のお店でご用意いただきますようお願いいたします。

【学区内】 根本商店（TEL281-2757） マートカマヤ（TEL281-2756）

【学区外】 正直屋（TEL281-0254）・福島洋品店（TEL281-0324）・学生衣料かのと（TEL281-0271）